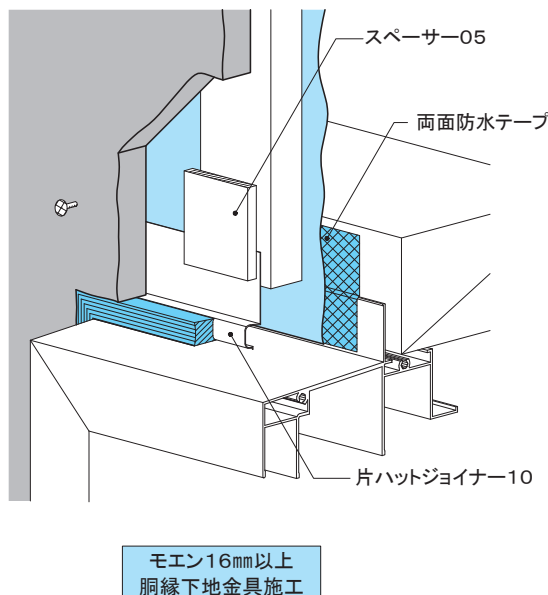
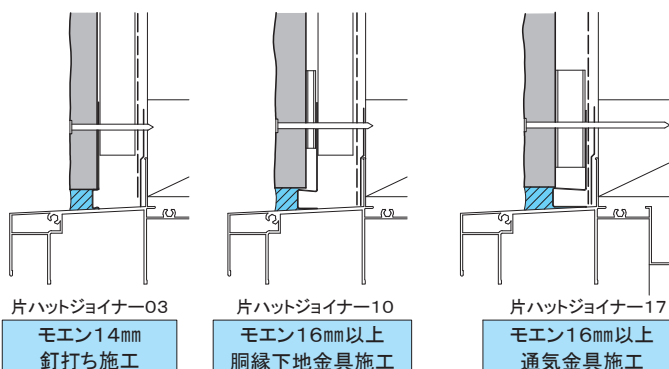


1-23 各部の基本納まり図

8) 開口部上側

①片ハットジョイナー納め

- 開口部の上側は、モエンの裏側に十分な通気路を確保することで、万が一、浸入した雨水を左右に流動させると、通気の循環を目的としています。その通気路を確保する方法として、片ハットジョイナーを下図のように取り付けてください。この納め方の場合、モエン開口水抜き部材Ⅱ(FC200)は使用しません。



②モエン開口水抜き部材を使用する場合

- 開口上部に、万が一通気層へ浸入し滞留してしまった雨水や結露水などを排水することができるように、モエン開口水抜き部材Ⅱを取り付けます。なお、軒の出が少なく、またはない建物や、地域・環境によって強い風の影響を受ける建物は、①シーリング納め(片ハットジョイナー)としてください。

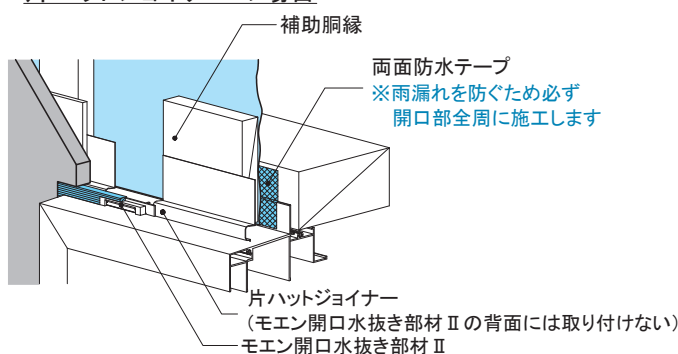
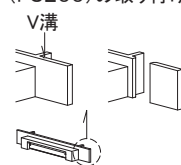
※モエン開口水抜き部材Ⅱの背面には浸入水や結露水の排水を妨げないようにするため、片ハットジョイナーまたはバックアップ材を取り付けください。

※モエン開口水抜き部材Ⅱのフラップ部周囲に、開閉に支障をきたす異物(鳥のフンなど)が付着した場合は、洗い流すなどして取り除きます。

※モエン開口水抜き部材Ⅱは、取り付け面の傾斜が大きい(目安5°)とフラップ下端が開いた状態になりますので、ご注意ください。

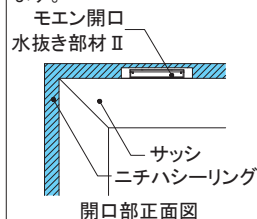
※1時間準耐火構造が必要な場合は片ハットジョイナーとしてください。

片ハットジョイナーの場合

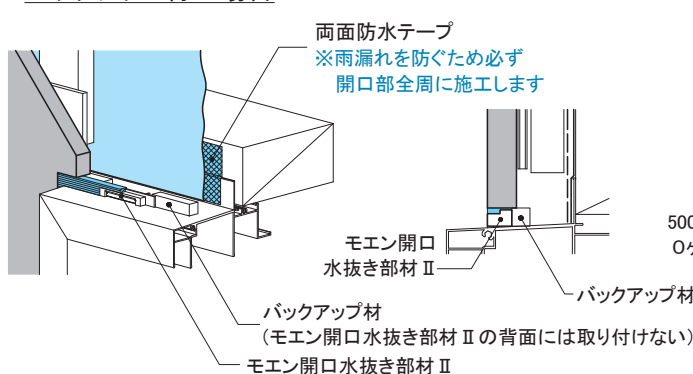
モエン開口水抜き部材Ⅱ
(FC200)の取り付け

※部材両端のハネ部分が納まり上支障のある場合、ハネ部分をV溝に沿って切断してください。

モエン開口水抜き部材Ⅱ上部の隙間にもシーリングを充填します。



バックアップ材の場合



〈モエン開口水抜き部材Ⅱ(FC200)の取付位置〉

